

各 施 設 長 殿

心身障害児総合医療療育センター
所長 小 崎 慶 介 (公印省略)

第 59 回 重症障害児(者) 医療 講習会 (医師対象)

開催について

標記の講習会を下記により開催いたしますので、ご案内いたします。

医療型障害児入所施設、療養介護施設、各種療育施設・一般病院等において、障害児(者)とくに重症児(者)の医療・療育に携わる医師に受講希望者がおられましたら、お申込みいただけますようお願いいたします。

記

1. 目 的 本講習会は、各種の療育施設等で、障害児(者)とくに重症児(者)の医療・療育に携わる医師を対象とする。今回はベーシックコースとして設定し、重症児(者)の医療・療育内容のさらなる向上を図ることを目的とする。
2. 講習期間 令和2年 3月 28日(土)～ 3月 29日(日)
3. 講習場所 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所
4. 定 員 60名
5. 受講資格 医療型障害児入所施設、療養介護施設、一般病院等において障害児(者)とくに重症児(者)の医療・療育に携わる医師。
6. 受講費 29,700円
7. 添付書類 ① 講習会要項 別紙(1)
② 講習科目(ご案内) 別紙(2)
③ 受講申込書 別紙(3)
8. 申込方法 受講申込書を令和2年2月25日(火)までにファックスまたは郵送で送付
(先着順に受け付け、定員になり次第締切)
送付先：〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-1-10
心身障害児総合医療療育センター 療育研修所
FAX 03-3959-7648

別紙（1）

第59回 重症障害児(者)医療 講習会（医師対象） 要綱

1. 講習期間 令和2年3月28日(土) ～ 3月29日(日)
2. 講習場所 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所
交通：東京メトロ有楽町線・副都心線「小竹向原駅」下車。
3番出口より徒歩10分。
所要時間の目安は、羽田空港から120分、東京駅から60分。
(車・バイクでお越しの場合は要予約)
3. 講習内容 講習会の講習科目、時間数、講師氏名等は 別紙（2）のとおり
4. 経 費 1) 受講費 29,700円（消費税2,700円を含む）
2) 宿泊費 1泊 4,950円（消費税450円を含む）
締切後に送付する「受講承諾書」の合計金額をお振り込みいただきます。
振込手数料（返金の場合も）の負担は参加者（施設）負担とします。
キャンセル（変更）の場合の返金について
3月26日(木)までの申し出は返金いたします。以後は返金いたしません。
5. 宿 泊
研修所の宿泊室（17室）は個室使用とします。宿泊を希望される場合は申込書の欄に必ず記入して下さい。なお、宿泊室にはテレビ・冷蔵庫無し。風呂・トイレ別（講習会最終日の宿泊はできません）。
6. 食 事
昼食は弁当（1,100円）の予約注文をお受けします。希望するかどうか申込書に記入して下さい。
宿泊に関する食事への対応はしておりませんので各自で用意して下さい。ある程度の自炊可能な設備（冷蔵庫・電子レンジ・クッキングヒーター・湯茶等）はあります。
7. その他
 - 1) 講習会初日3月28日(土)の受付は、8時00分より9時00分まで。なお、宿泊される方で、前日3月27日(金)に来所の方は16時～17時までに到着して下さい。
17時より、宿泊・施設使用に関しての説明をいたします。
(時間内にお越し頂けないと宿泊できない場合がございます)
 - 2) 昼食代は当日受付でお支払い下さい。
 - 3) 宿泊者携行品：健康保険証、洗面具、タオル、寝衣、スリッパ。
(石鹸、シャンプー、ドライヤー、ティッシュ、目覚まし時計、洗濯機、乾燥機あり)
 - 4) キャンセルされる場合は（昼食弁当も）必ず連絡をお願いします。
 - 5) お分かりにならないことは、お問い合わせ下さい。療育研修所 TEL 03-5965-1136(直通)

別紙 (2)

第 59 回「重症障害児(者)医療講習会」(医師対象)のご案内

心身障害児総合医療療育センター

当センターでは、厚生労働省からの委託により、全国の肢体不自由施設、重症児施設等の職員を対象に、障害児の療育についての講習会を開催していますが、その一環として、障害児(者)とくに重症児(者)の医療・療育にたずさわる医師を対象とした講習会を開催し好評を得ております。今回、下記のように開催いたしますので、御案内申し上げます。

会場 心身障害児総合医療療育センター療育研修所 日時 令和2年3月28日(土曜日)～29日(日曜日)
対象 医療型障害児施設・療養介護施設、一般病院等において、重症心身障害児者の診療・療育に携わる医師

医師対象の短期講習会は、基礎的内容を中心にした basic course と、最近の進歩を中心にして経験のある医師にも参考になる内容のプログラムでの advanced course のどちらかを、開催しています。今回は、basic course です。

テーマ、講師、予定

3月28日

8:00より、受付開始

嚥下障害・誤嚥、経管栄養	北住映二(心身障害児総合医療療育センター小児科)	9:00-10:10
重症児での誤嚥の病態、嚥下造影検査の実際、間歇的経管栄養法・栄養チューブ挿入困難例への対応・重症児者における胃瘻の注意点等、経管栄養の諸問題		
重症児者の気管切開、誤嚥防止手術	堀口利之(北里大学リハビリテーション学科)	10:20-12:00
気管切開に伴う諸問題と対策の実際(合併症、内視鏡検査のポイント等)、喉頭気管分離手術等の誤嚥防止手術		
重症児者の気管切開管理の実際的諸問題への対応	北住映二	12:10-12:50
変形への対応や合併症(気管腕頭動脈瘻、肉芽)防止のための気管カニューレ選択・特注カニューレ活用、吸引、誤嚥軽減のためのスピーチバルブ、事故除去への対応等		
重症児者の呼吸障害 病態と対策・概説	北住映二	13:30-14:30
各レベルでの気道狭窄(中咽頭狭窄、喉頭障害、気管軟化症等)、経鼻咽頭エアウェイ法の実際的ポイント等の気道狭窄への対応法、positioning(姿勢管理)等		
人工呼吸器治療の基礎的事項と重症児者での実際	山谷和雄(札幌あゆみの園麻酔科)	14:40-16:40
各種のモードと使い分け、重症児者での状態による適用のポイントなど		
重症児者への呼吸リハ、排痰療法、NPPV等	山口直人(心身障害児総合医療療育センター小児科)	16:50-18:20
陽圧換気(蘇生バッグでの)、カフアシスト、パーカッションベンチレーター、高頻度胸壁振動法等の実際的ポイント、気管切開ケースでのこれらの応用の注意点、NPPVの実際的ポイント、ネーザルハイフローセラピー等		
筋緊張亢進への薬物(内服薬・坐薬)治療	北住映二	18:30-18:50

3月29日

重症児者の栄養管理・水分電解質管理	口分田政夫(びわこ学園医療福祉センター小児科)	9:00-11:00
状態に応じた必要カロリー量の算定、栄養評価法、各種栄養剤の特長と使い方の注意や工夫、微量元素欠乏・低蛋白症などへの対応法、状態に応じた水分必要量の算定、SIADHや唾液からの喪失等の水分電解質の問題等		
重症児者の上部消化管障害への外科的治療、胃瘻造設・管理の実際	世川修(東京女子医大小児外科)	11:10-12:50
胃食道逆流症への内視鏡手術、変形が強いケースでの胃瘻造設、胃瘻管理等		
重症児者の上部消化管障害への内科的対応	北住映二	13:30-14:00
病態(胃食道逆流症、十二指腸通過障害等)、姿勢管理、薬物療法、経鼻(経胃瘻)空腸カテーテル栄養法等		
てんかん	須貝研司(ソレイユ川崎、前 国立精神・神経医療研究センター小児神経科)	14:10-16:00
重症児者における、抗てんかん剤の選択と使い方の基本、てんかんの治療のポイント等		

受講費：資料代も含め29,700円(消費税込み)

受講御希望の方は、別紙の申込書に記入し、2月25日までに、下記へ御送付ください。

〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-1-10 心身障害児総合医療療育センター療育研修所

別紙(3)

療育研修所
第59回重症障害児(者)医療講習会
受講申込書

小児科・整形外科・リハ科・その他()	
ふりがな	
1. 氏名	S・H 年 月 日生 才男・女
2. 現住所	TEL 宿泊者：携帯
3. 宿泊の希望	A) 研修所宿泊希望 () 3/27(金)宿泊 ・ () 3/28(土)宿泊 計()泊 B) 個人で用意するので不要(通講、個人で用意する事を含む)
4. 配慮の必要性「車椅子使用」等	
5. 昼食弁当(必ず記入して下さい)	3/28(土)の弁当()必要・()不要 3/29(日)の弁当()必要・()不要 1100円× 食=計 円
6. 領収書・請求書の宛名(無記入は施設・病院名で用意します)	請求書 必要 ・ 不要

令和 年 月 日

〒
施設・病院住所
電話番号
Fax 番号

施設・病院名

心身障害児総合医療療育センター
所長 小崎 慶介 殿

(研修所記入) 受付日 受付順位